

世田谷にこだわる

創業の地であったり、本格的な操業を開始した場所であったり、地域とともに成長した思い出があったり、あるいはただ世田谷が好きだというシンプルな思いから、生産拠点は移転しても本社は世田谷区内に置き続けているものづくり事業者がたくさんあります。

事業者にとってさまざまな魅力がある世田谷区。ここからは世田谷区内に本社を置き、世田谷にこだわり続ける事業所を紹介していきます。

株式会社 金冠堂



「キンカン」を主力製品に91年 世界中の人々の健康管理に役立ちたい

誰でも知っている「キンカン」は、かゆみや肩こり腰痛に効く万能外用薬として1926(大正15)年の創業以来、変わらぬ処方方で世界の人々の健康を守り続けています。与えられた課題をこなしていくことが仕事のやりがい、と語る山崎社長。今年2月にはキンカンに続くブランド「hadana」を立ち上げ、ハダナかゆみ止め《ゼラニウムガーデン》を新発売、同時にさらに長生きになった人間に必要な新しい分野の製品開発にも意欲的に取り組んでいます。

大学で声楽専攻という意外な経歴の山崎社長は、「人の言いなりにならず、自由な発想をして欲しい。こじんまりした人間にはならないで!」と強く語ります。

かゆみや虫さされ、肩こり腰痛などでお世話になる家庭の常備薬



株式会社金冠堂

www.kinkan.co.jp

代表者 山崎 充
所在地 世田谷区三軒茶屋1-34-14
設立 昭和18年(1943年)
主な事業 一般用医薬品、医薬部外品の製造
連絡先 ☎03-3421-6171



山崎充代表取締役社長

株式会社 世田谷電線製作所



0.1ミリの銅線をより合わせた電線が 列車の安全運行を守る

主力製品は鉄道のATS(自動列車停止装置)などに使われるリッツ線。ウレタン被覆した0.1ミリほどの銅線を、40本程度より合わせた電線で、安全のための信号を列車とやり取りするアンテナの役目を果たす、重要な製品です。リッツ線に絹を巻いて周波数をコントロールする絹巻線では、銅線の径が0.025ミリという、国内でも数社しか巻けない高度なものを製品化しています。

製造工程は必ず自分でも経験してみるという市川代表取締役は、「自分でやれば製品の優れた点や製造の難しさがかかるので、製品の価値を正しく評価し、適正な価格が付けられる」と話します。



絹巻線。音質を向上させるため、高級スピーカーケーブルにも使われる



リッツ線のほか、医療用や自動車用のワイヤーハーネスなどの製品群



市川雅一代表取締役

株式会社世田谷電線製作所

www.setagayadensen.co.jp

代表者 市川 雅一
所在地 世田谷区弦巻2-29-10
設立 昭和44年(1969年)
主な事業 鉄道用電線の製作、各種電線の加工・組立
連絡先 茨城県稲敷郡阿見町中央2-3-20
☎029-896-5580